

「生きる力を備え、地域で活躍できる人材の育成」

- ・たくましい子 チャレンジする
- ・かしこい子 自分の考えをもつ 自分を表現する
- ・やさしい子 人を大切にする



手立て：人との関わり・対話

【人との関わりと対話を通して笑顔いっぱいの高柳小学校に！！】

～ 4つの力を伸ばし、充実した1年にしていきます ～



高柳小学校 保護者の皆様 地域の皆様

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和5年度は、121名の1年生が入学し、678名で新たな学校生活がスタートしました。昨年度に引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

笑顔いっぱいの高柳小学校にするために、「励ましの声をかけること」・「感謝の気持ちを言葉で伝えること」を大切にして、学校がやなぎっ子一人一人にとって、**安心・安全の居場所**となるよう努力して参ります。

教職員で話し合って決めた、4つの資質・能力「人を大切にする心」「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」「チャレンジする力」を今年度も育んでいきたいと考えています。「チーム高柳」で力を合わせ、「やなぎっ子」の成長を支えていきます。ご家庭でも是非、意識した声掛けをお願いします。

コロナ禍での学校生活を通して、学校でしか学べないこと・学校だからこそ学べることをもっと大切にしたいと感じました。児童は、人との関わりや対話をする中で、自分を振り返り、みつめることで大きく成長します。4つの力を育む手立てとして、今年度は、**「人との関わり」がもてるような場の設定と「対話」の取り組みを意識して取り組んで参ります。**

人との関わりは、児童どうしはもちろんのこと児童と教職員、児童と保護者、児童と地域の方々、そして関わる大人どうし（教職員と教職員 教職員と保護者 教職員と地域の方々 保護者と保護者 保護者と地域の方々）も関わりを大事にしていきたいと思えます。

対話は、ペアトーク・グループトーク・クラスの話し合いだけでなく、自己内対話、例えば「考える」・「振り返る」・「書く」など「自分自身との対話」や読書（作者との対話・登場人物との対話など）も含めたいと思えます。

意図的に「人との関わり」がもてるような場の設定と「対話」の取り組みを行うことを学校生活の中で計画していきます。今年度も学校・家庭・地域の連携を更に深め、充実した学校生活となるよう取り組みます。

コミュニティスクールの高柳中学校区では「**あったかやなぎ**」を合言葉にしました。四つ葉のクローバーの取り組みを通して、高柳地域がより温かくなるよう努力していきます。保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

校長 小泉 弘代